

2005 年度冬学期 認知神経科学（水曜 2 限、鈴木宏昭担当） 期末試験問題

以下の設問に答えなさい。なお分量はおおよそのものであり、厳密なものではない。回答に際しては、何を選択したかが分かるようにローマ数字とアルファベットを回答の最初に必ず書くこと。

I. 以下の中から 3 題を選び数行（2～5 行程度）程度の簡単な説明を行いなさい。（各 10 点）

- A) Change Blindness
- B) 符号化特殊性(encoding specificity)
- C) 演繹と帰納の違い
- D) 利用可能性ヒューリスティクス
- E) アフォーダンス
- F) 洞察問題

II. 以下の中から 2 題を選択し、20 行程度で論じなさい。（各 30 点）

- A) 人間の情報処理過程の基本的な図式について説明しなさい。
- B) チャンクという概念が必要となる証拠を挙げつつ、これを計算機科学における情報量と比較して述べなさい。
- C) 人間の記憶（想起）の生成的性質について証拠を挙げて論じなさい。
- D) Wason の選択問題（4 枚カード問題）におけるさまざまな実験的証拠が示すことについて論じなさい。
- E) ハノイの塔のさまざまなバージョンを用いた実験を通して、Zhang & Norman が提案した分散認知の考え方を解説し、その意義を述べなさい。
- F) 洞察における制約緩和を促す要因について述べなさい。

III. 本講義を受講し、人間の認識についてどのような知見を得たか、あるいは何が疑問として残ったかを書きなさい（分量は自由）。（10 点）